

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	静岡県菊川市		代表者名	長谷川寛彦	
担当者部署	企画政策課		連絡先電話番号	0537-35-0900	
担当者役職	主査	担当者氏名	柏谷怜	連絡先E-mail	*****
住所	439-8650 静岡県菊川市堀之内61				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	標準化移行計画の策定やDX推進計画の改定を検討する中で発生した課題について、一つ一つ丁寧にアドバイスをいただいたことで、今後の作業が進めやすくなったため。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月13日	支援・助言	有	令和5年12月5日	1060
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年12月13日	支援・助言	13時30分	15時40分	
				活動時間（分）	130

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	情報政策担当職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	総務省の自治体情報システムの標準化・共通化に係る手順書や自治体DX推進計画の改定に伴い、市でも標準化移行計画の策定やDX推進計画の改定を検討しているが、本市の現状も踏まえて各計画をどのように策定・改定していくかという段階で多くの課題や懸念事項が発生している。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	本市での標準化移行計画の策定、DX推進計画の改定。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・標準化移行計画に盛り込む内容について、国のフォーマット例を基に本市の現状をどのように落とし込んでいくかの課題へのアドバイス。 ・情報化施策の進捗状況や総務省計画の改定等により発生している既存市計画の内容の古さや現状との乖離について、修正の検討の方向性の考え方のアドバイス。 ・標準化の機能要件の考え方の整理。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	・標準化移行計画について、計画の位置づけや本市の現状の落とし込み方。 ・既存市DX推進計画について、修正の検討の方向性。 ・標準化Fit&Gapを実施する中で発生した機能要件部分の課題の考え方。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 情報政策担当職員3人のみで支援を受けたため、アンケートを実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	本市での標準化移行計画の策定、DX推進計画の改定。	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

